

■ 経緯

「強い経済」を実現する総合経済対策（令和7年11月21日閣議決定）抜粋

第2章「強い日本経済実現」に向けた具体的施策第1節生活の安全保障・物価高への対応（6）公教育の再生・教育無償化への対応（教育無償化への対応）

いわゆる高校無償化と併せて公立高校や専門高校等への支援の拡充を図るため、政党間の合意に基づき、安定財源を確保した上で、交付金等の新たな財政支援の仕組みを構築することを前提に、国から2025年度中に提示される「高校教育改革に関するグランドデザイン2040（仮称）」に沿った緊要性のある取組等について、都道府県に造成する基金等により先行的に支援する。

■ グランドデザイン 骨子（11月28日公表）の概要

1 グランドデザインの背景

□ 社会状況の大きな変化「2040年問題」

- ・ 少子高齢化、生産年齢人口の減少、地方の過疎化が一層深刻化
- ・ 産業構造や社会システムの変化を踏まえた労働力需要ギャップ、理系人材の不足の可能性
- ・ 3つの視点（〔視点1〕AIに代替されない能力や個性の伸長、〔視点2〕我が国の経済・社会の発展を支える人材育成、〔視点3〕一人一人の多様な学習ニーズに対応した教育機会・アクセスの確保）の下での高校改革の実施
- ・ 高校から大学・大学院に至るまでの一貫した教育改革により、強い経済や地域社会の基盤となる人材育成の実現が急務

2 高校改革の方向性～2040年に向けた高校の姿～

AIに代替されない能力や個性の伸長	我が国の経済・社会の発展を支える人材育成	一人一人の多様な学習ニーズに対応した教育機会・アクセスの確保
<ul style="list-style-type: none"> ・ 探究的な学びや実践的な学びへの学習観の転換 ・ 主体的に学び人生を切り拓く「生徒を主語にした」教育を推進 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の経済社会を支えるエッセンシャルワーカーの圧倒的不足 ・ 新時代を担う人材を育成するための高校の特色化・魅力化が必要 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化が加速する地域における高校教育の維持や学びのアクセスの確保が必要 ・ 高校のいずれの課程でも柔軟で質の高い学びの選択肢の保障が必要 等
【実現するための取組の方向性】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の生徒の学習ニーズへの対応等に向けた教育課程の柔軟化 ・ 生徒の学びの成果・課題の把握と教育活動の改善への反映、公表の仕組みの構築 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門高校における地域の産業界との連携等に向けた指導運営体制の充実 ・ 普通科に偏った学科構成の見直しや産業界の伴走支援による専門高校の機能強化・高度化 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国どこにいても学びが保障されるよう、一定規模の確保、小規模校を含む学校間連携や遠隔授業の推進 ・ 通信制高校の管理運営の適正化や教育の質の確保・向上 等

3 高校教育の充実に向けた支援

□ 基本認識

- ・公立高校は、多様な背景を有する生徒の様々な学習ニーズ、地域が求める人材、学校の地理的状況などの観点から、地域における高校教育の普及や機会均等を図る重要な存在
- ・高校無償化による専門高校を含む公立高校への影響を考慮し、公立高校への支援を拡充

□ グランドデザインを踏まえた都道府県の「高校教育改革実行計画」の策定

- ・実行計画策定に当たっては、都道府県知事等の首長や関係部局、地域の関係者や産業界と十分に連携・協働
- ・総合教育会議等を活用し、幅広い意見等を聞いて策定

□ 支援対象

アドバンスト・エッセンシャル ワーカー等育成支援	理数系人材育成支援	多様な学習ニーズに対応した 教育機会の確保
<u>専門高校の機能強化・高度化</u> ・産業界の伴走支援を受けながら行う教育課程の刷新・開発 ・先端分野の専門的な指導等を通じた地域産業を支える人材育成 等	<u>普通科改革を通じた高校の特色化・魅力化</u> ・学校の創意工夫に基づいた教育課程等の改革（理数系教育、学際的・複合的な学問分野に即した学び） 等	<u>地理的アクセス・多様な学びの確保</u> ・学校規模・配置の適正化 ・学校間連携や遠隔授業の促進 等

□ 支援策

- ①交付金 令和8年度中に県の実行計画を策定、令和9年度から交付金により支援
- ②基金 ①交付金に先立ち、拠点（パイロットケース）を創出するため、令和7年度、県に基金を設置し、支援

□ スケジュール

